

平成 27 年度
一般財団法人松本市芸術文化振興財団
事業計画書

(平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

第 1 財団運営の基本方針

1 所管業務

平成 27 年度は、松本市から指定管理者の指定を受けて、美術館施設 1 館、文化芸術施設 3 館の管理運営を行います。

自主事業に当たっては、特に音楽文化ホールが開館 30 周年、波田文化センターが開館 20 周年を迎えることから、市民とともに歴史を振り返る機会とし、次代を担う「こども」をキーワードとした記念事業を実施します。

施設区分	施設名	開館時期	指定管理の区分		
美術館	松本市美術館	平成14年4月	期間：H27/4/1～ 1年間	特命指定 (非公募)	委託料方式
文化芸術施設	松本市音楽文化ホール	昭和60年10月	期間：H24/4/1～ 5年間		指定管理料方式と利用料金制の併用
	まつもと市民芸術館	平成16年8月	期間：H25/4/1～ 5年間		
	松本市波田文化センター	平成7年4月	期間：H25/4/1～ 5年間		

2 財団の組織強化

(1) 公益事業の推進

一般財団法人移行後、法で義務付けられている公益目的支出計画を着実に進め、公益の増進に努めます。

(2) 経営の健全化、職員の資質向上

会計・税務処理の適正化、また職員のコンプライアンスに対する意識高揚を目的に、各種職員研修を実施し、財団の経営能力の向上を図ります。

(3) 財団改革

「財団改革の基本方針」(平成18年3月策定)並びに松本市の「外郭団体等への市の関与のあり方の基本方針」に基づく経営計画に沿い、財団の機能強化を図ります。

3 職員体制

平成27年4月1日予定

単位：人

区分	部長級職名	人数	課長級職名	人数	係長級職名	人数	職名等	人数	計	
事務局	市職	局長	1	次長 兼会計課長	1	次長補佐 兼会計係長	1	一般事務	1	4
	財団							一般事務	1	1
	計		1		1		1		2	5
美術館	市職			副館長	1	副館長補佐	3			4
	財団							一般事務	1	2
								売店事務	1	
計				1		3		2	6	
音楽 文化 ホール	市職					館長補佐	1	一般事務	1	2
	財団			館長	1	制作ディレクター	1	一般事務	3	8
								企画営業	1	
								企画広報	1	
オルガニスト	1									
計				1		2		7	10	
市民 芸術館	市職					次長補佐	1	一般事務	1	2
	財団	芸術監督	1	支配人	1	プロデューサー	1	一般事務	5	21
								企画制作	6	
								舞台技術	7	
計		1		1		2		19	23	
波田文 化セン ター	財団			館長 (芸術館支配人兼務)		係長(企画制作兼務)	1	一般事務	1	3
								舞台技術	1	
計						1		2	3	
合計	市職		1		2		6		3	12
	財団		1		2		3		29	35
	計		2		4		9		32	47

第2 各施設の事業計画

1 松本市美術館

活 動 方 針

1 基本目標

- (1) 松本市美術館が市立の施設であることを十分認識し、法令を遵守するとともに、利用者サービスの向上に取り組みます。
- (2) 美術館が目指す「四つの場」〈鑑賞・表現・学習・交流の場〉を踏まえた管理運営を行い、美術館が生涯学習の拠点として市民に親しまれ、生きがいと潤いのある市民文化の醸成が図られることを目指します。

《鑑賞の場》 美術資料の鑑賞に適した展示環境を創出し、地域や世界の優れた美術作品を身近に鑑賞できる機会を充実します。

《表現の場》 市民の芸術活動の発表や展示ができる表現の場の提供を通して、未来への発展を展望する美術遺産の創成を支えます。

《学習の場》 生涯学習を推進する学習拠点として、各種学習機会を市民に提供し、未来の芸術文化の担い手となる人材の育成を図り芸術文化に親しむ環境をつくれます。

《交流の場》 美術館活動を通じて地域に開かれた身近で親しみやすい交流の場、ふれあいの機会の充実に努めます。

2 平成27年度の重点的な取組み

基本目標に沿った管理運営を行い、お客さまの満足度の向上を図るため、観覧者や施設利用者など、お客さまの目線に立った接遇に努めるとともに、美術館として快適な環境の提供に努めます。

(1) 平常管理・サービス業務

お客さまに「来てよかった」、「また利用したい」と思ってもらえるよう、ホスピタリティ（思いやり）の向上に努めるとともに適切な施設・設備の維持保全等を図り、お客さまにとって快適な環境の提供に努めます。

ア 受付・監視業務：受付・券売、常設展示室の監視

イ 貸館業務：市民ギャラリー、多目的ホール等の利用申込受付、利用にあたっての支援等

ウ 管理業務：設備保守点検・清掃、警備業務による快適な環境維持等、施設管理

(2) ミュージアムショップ運営業務

常設・企画展示室に続く第3の展示室として、「お客様が夢をお持ち帰りいただく空間」となるようショップ運営に取り組みます。

ア 心地よい空間づくり

イ 展覧会に連動した企画・販売

ウ 人気作家や地域をテーマとした企画・販売

エ シーズンに合わせた企画・販売

3 利用促進対策

- (1) 施設管理業務等に関しては、来館者アンケート等利用者の意見を参考に運営の改善を図り、リピート利用の促進に努めます。
- (2) 芸術館自主事業や「セイジ・オザワ 松本フェスティバル」との連携事業を開催し、新たな鑑賞者層の拡大に努めます。
- (3) 市でリニューアルするホームページについて、運用を担う指定管理者の立場から、より効果的な広報に結びつくものとなるよう協力してまいります。

《参考》 展覧会等開催予定（市直轄事業）

区分	内 容	会 期	目 標 観覧者数(人)
常設展示	常設展示室A 草間彌生・魂のおきどころ	通 年	21,460
	常設展示室B・C 館所蔵品を適宜展示公開		
	池上・百竹亭コレクション		
	細川宗英特設展示		
記念展示	田村一男記念展示室		
	上條信山記念展示室		
特別展示	戦後日本住宅伝説展	4/18(土)～6/7(日)	8,000
	篠山紀信展	7/18(土)～10/12(月)	30,000
	橋本雅邦と幻の四天王展	10/31日(土)～11/29(日)	8,000
	(仮称) 美術館の底力、見せ ます展	2/13(土)～4/3(日)	(27年度分) 4,670 (会期全体) 5,000
27年度合計			72,130

2 松本市音楽文化ホール

活動方針

1 基本目標

(1) 施設管理業務

ア 貸館業務

施設全体を良好な状態に保ち、利用される皆様に気持ちよくご利用いただくために、相手の立場に立った親切な対応を心がけます。

(ア) 年間利用者総数

施設利用者及び鑑賞者等を含めた利用者数については、直近平常年度過去3カ年平均を上回る人数を目標に、施設の利用促進に努めます。

(イ) 利用料金収入

平成28年度の空調設備改修工事に伴い、ホールは利用できるものの冬期暖房が使用できなくなることから、27年度中の予約減少が見込まれます。しかし小ホールの改修後、音響性能と利便性が向上することからこれをPRし、収入の確保に努めます。

目 標	年間利用者総数	100,000人
	利用料金収入	16,230千円

イ 施設維持管理業務

施設及び設備について必要な保守を行い、良好な状態を保つように努めます。

(2) 音楽文化活動普及振興業務

ア 自主事業（公演事業等、目標数値は別記）

(ア) 招聘事業

音楽専門ホールとして、国内外の優れた音楽家を招聘し世界最高水準の演奏を提供します。

(イ) 自主企画事業

a 経常自主企画事業

子どもたちが出演者として、また観客として気軽に音楽と接することができるコンサートの他、県内唯一のコンサート用オルガンによる幅広い層に楽しんでいただけるコンサートを開催します。

b 特別自主企画事業

松本市にゆかりのある演奏家による共演コンサートを中心に、多彩なジャンルのコンサートを実施します。

(ウ) 共催事業

市民や音楽団体との共催事業を通じて、市民の音楽文化の向上を図ります。

(エ) セミナー事業

a ホール所有のオルガン、チェンバロの講習会等を開催し、特色ある事業を展開します。

b 優れた演奏家による高校生等を対象としたクリニックの開催を通じて、音楽技術の向上を図ります。

イ 音楽文化活動支援事業

(ア) 音楽団体の活動支援

- a 登録団体制度に基づいて使用料を一部減免し、地域における音楽団体の活動を支援します。
- b 音楽団体等の演奏会情報等を広く周知するため、ホール情報誌「ハーモニー」(ハーモニーメイト編集・発行)に掲載します。

(イ) ハーモニーメイトの育成援助

団体の自主性を尊重し、事業に協力するとともに育成・援助をします。

(ウ) 音楽関係相談業務

各種演奏会開催に係る、出演者、コンサート企画等についての相談業務を行います。

2 平成27年度の重点的な取組み

基本目標に踏まえた管理運営を行うとともに、より多くの皆様にご利用・ご参加していただくために、次の2点に取り組みます。

(1) 開館30周年記念事業

開館30周年を記念し、通常実現が困難な大規模演奏会を招聘するとともに、一流の演奏家と地元音楽団体や高校生との共演により、市民と共に30周年をお祝いします。

(2) 子ども向け事業の充実

パイプオルガンとダンスの共演プログラムを実施するなど、次代を担う子どもたちに音楽(活動・鑑賞)への興味を持ってもらえるよう取り組みます。

3 利用促進対策

(1) 施設管理業務に関しては、通常利用の中でご意見をいただくほか、利用者懇談会における音楽愛好団体等の意見を参考に、より利用しやすい施設となるよう常に改善を図り、利用者の増加につなげられるよう努めます。

(2) 自主事業の企画に当たっては、コンサート時に行っているアンケートを参考とし、多くの皆様に来場いただける魅力ある企画となるよう努めます。

(3) 多くの来場者・参加者にお越しいただけるよう、各種メディアを通じて積極的に広報活動をするため、次により対応します。

ア ハーモニーメイトとの連携により、情報誌ハーモニーに記事を掲載して、音楽愛好家等への周知を図ります。

イ 地元紙の広告会へ引続き入会し、定期的な広告及び関連記事の掲載等により、広く地域住民等への周知を図ります。

ウ 中央の音楽情報誌への広告掲載により、観光とのタイアップも念頭に置いて、県外ファン獲得のための広報活動を行います。

エ FMまつもとの番組中に積極的に職員が出演しPRするとともに、従来どおりテレビ松本の「広報まつもと」を活用します。

オ ホール公式ホームページのほか、松本市公式ホームページ、また平成26年度に運用を開始したフェイスブックを通じて、さらに広報活動を充実させます。

事業内容

1 公演事業等

区分 番号	事業名称等	開催時期	支出見込 (千円)	収入見込 (千円)	
	演奏会内容	参加人員(人)		事業収入	市委託料
1	招聘事業	2,700	30,782	14,600	16,182
	(1) 開館30周年記念特別招聘事業	1,800	24,138	10,800	13,338
1	スロヴァキア・フィル & L.カンタ ボヘミアの自然と魂を奏でる	7月4日(土) 500	8,419	3,750	4,669
2	ハイツ・ホリガーと仲間たち 伝説のオーボエ	9月10日(木) 400	2,305	1,300	1,005
3	ピリシュ ピアノデュオ ピアノの女王	11月10日(火) 400	3,741	2,000	1,741
4	フィンランド・ラハティ交響楽団 オッコ・カム指揮によるシベリウスの世界	11月25日(水) 500	9,673	3,750	5,923
	(2) 招聘事業(通常)	900	6,644	3,800	2,844
1	小曽根真ジャズ・ナイト in 松本 あの熱狂を再び	12月19日(土) 400	3,993	2,200	1,793
2	イザベル・ファウスト(ヴァイオリン) ヴァイオリン界の新女王によるバッハの無伴奏	1月17日(日) 500	2,651	1,600	1,051

区分 番号	事業名称等	開催時期 参加人員(人)	支出見込 (千円)	収入見込(千円)	
	演奏会内容			事業収入	市委託料
2	自主企画事業	5,050	18,572	10,150	8,422
	(1) 開館30周年記念特別自主企画事業	1,350	3,391	1,950	1,441
1	安永徹&市野あゆみ with 松本室内合奏団	5月10日(日)			
	世界が認めた名手二人が松本の名門合奏団と共演	400	1,387	800	587
2	L. カンタ & 松本交響楽団	9月27日(日)			
	東欧を代表するチェリストが松響と共演	450	817	650	167
3	須川展也 & 中信地区高校生	11月1日(日)			
	サクソフォンのカリスマが地元高校生と共演	500	1,187	500	687
	(2) 特別自主企画事業(通常)	1,800	11,394	6,800	4,594
1	花岡千春と仲間たち	7月25日(土)			
	文化庁芸術祭大賞受賞者と松本の仲間	400	1,451	800	651
2	イル・デーブ	10月9日(金)			
	5人の太メンが醸し出す重量級の響き	450	1,840	1,500	340
3	松本バッハ祝祭アンサンブル				
	巨匠・小林道夫を音楽監督とするレジデンス・アンサンブル				
	巨匠・小林道夫の弾き振りによるバッハ	2月13日(土)			
	中信合唱連盟との共演	2月14日(日)			
		450	3,978	2,000	1,978
4	ポーランド・シレジア・フィル	3月26日(土)			
	ポーランドの名門が松本在住のピアニストと共演	500	4,125	2,500	1,625
	(3) 経常自主企画事業	1,900	3,787	1,400	2,387
1	こどもオルガン劇場「るるる・られる」	6月13日(土)			
	パイプオルガンとダンスによるパフォーマンス	500	1,551	600	951
2	THE 鍵盤フェスタ!	8月7日(金)			
	ホールのオルガン、チェンバロ、ピアノを見て聴いてさわって感じて、鍵盤楽器のすべてを知ろう!	300	236	0	236
3	Xmasファンタジー 2015	12月13日(日)			
	地元演奏家のアンサンブルと公募合唱団のコーラス	500	1,818	500	1,318
4	夜オルガン、昼オルガン	10月23日(金)、2月28日(日)			
	専属オルガニストがゲストと共にお届け	600	182	300	△ 118

区分 番号	事業名称等	開催時期 参加人員(人)	支出見込 (千円)	収入見込(千円)	
	演奏会内容			事業収入	市委託料
3	共催事業	14,800	2,360	0	2,360
1	第36回 新人演奏会	4月19日(日)			
	音楽関係大学等新春卒業者による演奏会	300	0	0	0
2	第29回 島内灯籠まつり	8月9日(日)			
	地元町会恒例の夏祭り	13,000	0	0	0
※ 1	札幌市・松本市 観光文化交流都市協定締結5周年記念				
	3-1 オルガンとダンスとおはなしによる音楽物語 「字のない手紙」(札幌)	8月15日(土)			
	3-2 福田善亮トランペッターリサイタル(松本)	1月30日(土)			
		1,000	2,360	0	2,360
4	第30回 ニューイヤー松本ボーカルフェスティバル	2月7日(日)			
	地元縁のボーカリスト共演によるコンサート	500	0	0	0
4	セミナー事業	430	1,788	820	968
※ 2	1 第14期 チェンバロ講習会(全6回)	6回			
	講師=栗形亜樹子(バイエル修了者対象)	90	952	180	772
2	オルガン講習会	6回×2			
	講師=原田靖子(一般市民対象)	20	0	240	△ 240
3	管楽器&指揮法クリニック	調整中			
	講師=洗足学園講師陣(高校生対象)	200	736	0	736
4	弦楽合奏・サクソフォンクリニック	調整中			
	講師=古典四重奏団団員、他(高校生等対象)	40	100	0	100
5	オルガンレッスン	通年			
	講師=原田靖子(オルガン講習会修了者対象)	80	0	400	△ 400
合計	26事業	22,980	53,502	25,570	27,932

※1 市の主催でホール(財団)が主管の事業

※2 セミナー事業中、オルガン講習会及びオルガンレッスンは、ホール専属オルガニストによるもので、謝礼等の支出を伴わないもの

3 まつもと市民芸術館

活動方針

1 基本目標

- (1) 世界的にも高い水準の芸術文化を創造・鑑賞する場とします。
- (2) 市民の芸術文化創造とその支援及び発表の場とします。
- (3) 市民が親しみやすく、新しいまち全体の賑わいと文化の潤いが生れる場とします。
- (4) これらを通じて、市民が交流する場とします。

2 平成27年度の重点的な取組み

- (1) 当館初となる国外（ルーマニア シビウ国際演劇祭正式招待・ブカレストオデオン座公演）公演や、相互交流としての国外からの招聘公演実施など、市民芸術館から海外へのダイレクトな創造・発信を進めることとします。
- (2) 芸術性の高い作品から娯楽性のある作品までバランスよくラインナップし、より多くの市民に来館していただけるよう努めます。
- (3) 公式ホームページやメールマガジン、広報誌等を活用し、常に最新の情報をお客様に提供するなどして、幅広い市民の来館を促します。
- (4) インフォメーションコーナー・ショップの充実や、シアターパーク・トップガーデンの利活用を進め、館の付加価値を高める活動も充実させます。
- (5) これまで以上に国をはじめ、さまざまな助成制度を積極的に活用するなど、自主事業財源の確保に努めます。

3 利用促進対策

- (1) アンケート調査等に基づいて、要望を把握し公演ラインナップの参考とします。
- (2) インフォメーションコーナーのフリーペーパースペースは、来館者に好評を得ていることから、自主事業（公演）に関連する書籍・資料等を展示するスペースを設けるなど更なる充実を図り、日常的に気軽に来館を促す取組みを進めます。
- (3) シアターパークは、ポスター・写真・絵画等の展示や、音楽・ダンスなどを気軽に発表できる場として、更に環境整備を進めることとします。

1 自主事業

(1) 創造・発信型事業

串田和美芸術監督代表作である「スカパン」の、国外（ルーマニア シビウ国際演劇祭）初上演と松本での再演（凱旋公演）や、過去2回に渡って好評を得た「空中キャバレー」をさらにパワーアップして上演します。また新たな取り組みとして、串田和美芸術監督の少人数芝居シリーズ第一弾となる『海の風景』を上演し、幅広い年代層の開拓を目指します。

(2) 鑑賞・招聘型事業

当館の各舞台空間を十分に満たすジャンルをそろえ、現代演劇、古典芸能、ダンス・ミュージカル、音楽コンサートや落語をバランス良く提供します。日本の演劇界をけん引するケラリーノ・サンドロヴィッチ、赤堀雅秋の新作、野村萬斎の代表作の再演、定番となりつつある中村屋兄弟の歌舞伎舞踊や立川志の輔落語に加え、ダンスでは、世界で不動の支持をえている山海塾公演、音楽では邦楽の藤原道山からポップスの徳永英明のコンサートなど幅広いラインナップとして、様々な年齢層の要望に応えます。

(3) 教育普及・育成型事業

ア 平成27年度は、隔年開催している市民オペラの公演年となります。

イ 本年は、20周年を迎えるまつもと演劇祭を共催事業と位置づけ、側面支援を行うこととします。

ウ 演劇工場（シアターファクトリー）は、加藤直工場長と串田和美芸術監督監修により引き続き第4期生を募集し、新たな受講生とともに学び、演ずる機会を提供します。

エ 串田和美芸術監督の演出によりリニューアルしたチャオバンビーニは、さらに多くの子どもが参加して楽しめるよう、充実を図ります。

オ 各公演に連動するだけではない市民を対象としたワークショップ、レクチャーを内容、事業数共に充実させ実施します。

カ 広報誌「幕があがる」は、話題、内容、仕上がりについて評価を得ていることから、芸術館のひとつの作品としてさらに充実させていきます。

(4) アウトリーチ事業

新たにまつもと演劇工場の卒業生等による市内保育園等での公演など、市民芸術館による公演を充実し、更に多くの観客動員を目指します。

(5) 観光・地域活性化協働事業

「信州・まつもと大歌舞伎」とともに隔年で夏のフェスティバルの一翼を担う「まつもと街なか大道芸フェスティバル」を開催し、夏の賑わいを創出します。

事業の詳細は次のとおりです。

2 事業概要

事業内容		ジャンル	開催時期	参加人員(人)	支出見込(千円)	収入見込(千円)	
						事業収入	市補助金
(1) 創造・発信型事業				5,630	120,870	80,230	40,640
1	「スカパン」海外公演	演劇	6月	600	26,260	18,540	7,720
2	「空中キャバレー2015」	その他	7月	2,800	49,720	30,600	19,120
3	シアターキャンプ	演劇	8月	30	970	150	820
4	「スカパン」海外凱旋公演	演劇	9月	1,000	15,370	11,600	3,770
5	「海の風景」	演劇	3月	1,200	28,550	19,340	9,210
(2) 鑑賞・招聘型事業				17,550	77,680	66,440	11,240
1	がーまるちよば(共催)	ダンス	4月	600	0	50	△50
2	古楽器との邂逅3 チェンバロ・コンサート	音楽	4月	150	770	700	70
3	道山・SINSKEコンサート	音楽	5月	200	3,230	920	2,310
4	新緑特別公演	古典	5月	2,000	11,930	15,120	△3,190
5	c o b a コンサート(共催)	音楽	6月	200	0	50	△50
6	山海塾公演	ダンス	6月	750	5,410	4,670	740
7	「敦」	演劇	7月	600	5,880	5,080	800
8	鼓童コンサート(共催)	音楽	7月	500	0	50	△50
9	「ラ・マンチャの男」(共催)	演劇	9月	4,000	0	100	△100
10	志の輔落語(共催)	古典	10月	1,200	0	50	△50
11	徳永英明コンサート(共催)	音楽	10月	1,000	0	50	△50
12	KERA 新作公演	演劇	10月	800	6,050	4,800	1,250
13	J A Z Z コンサート	音楽	10月	300	5,120	1,020	4,100
14	ルーマニア国立劇場招聘公演「オイディプス」	演劇	10月	500	8,940	7,160	1,780
15	宝塚公演(共催)	演劇	10月	1,000	0	50	△50
16	風間杜夫 落語会	古典	11月	500	1,650	1,900	△250
17	串田和美芸術監督演出新作公演	演劇	1月	2,400	18,940	18,720	220
18	「そして母はキレイになった」	演劇	2月	350	4,800	2,250	2,550
19	赤堀新作公演	演劇	2月	500	4,960	3,700	1,260
(3) 教育普及・育成・市民参加型事業				12,900	45,400	10,150	35,250
1	高校演劇講習会(春・冬)	演劇	6月ほか	250	0	200	△200
2	青少年のためのオペラ	オペラ	9月	6,000	6,500	0	6,500
3	高校演劇中信地区大会	演劇	9月	300	0	0	0
4	まつもと演劇工場	演劇	9月～	450	19,440	9,160	10,280
5	まつもと演劇祭(共催)	演劇	10月	1,000	0	50	△50
6	チャオ バンビーニ	その他	11月	2,000	4,350	550	3,800
7	市民オペラ	オペラ	12月	1,500	15,000	0	15,000
8	子どもたちの映画祭(共催)	その他	3月	1,200	0	50	△50

事業内容	ジャンル	開催時期	参加人員(人)	支出見込(千円)	収入見込(千円)		
					事業収入	市補助金	
9	バックステージツアー	その他	3月	150	110	90	20
10	各種ワークショップ	その他	通年	50	0	50	△50
(4) アウトリーチ事業				2,000	0	0	0
1	市民芸術館アウトリーチ公演	演劇	通年	2,000	0	0	0
(5) 観光・地域活性化協働事業				50,000	10,000	5,000	5,000
1	まつもと街なか大道芸フェスティバル	その他	7月	50,000	10,000	5,000	5,000
学芸事業				-	37,400	29,530	7,870
総計(36事業)				88,080	291,350	191,350	100,000

3 貸館事業

目標	利用料金収入	31,950千円
----	--------	----------

- (1) 利用者の興行、催事が成功するよう専門的な立場から支援します。
- (2) 一般利用の開館時間は、午前8時30分から午後10時ですが、利用計画により柔軟に対応します。また、休館日も利用の少ない日に設定するなど利用者の要望に応えます。
- (3) 松本観光コンベンション協会など関連団体と連携し、学会やイベント事業等の利用も推進します。
- (4) 平成27年度実施予定の主な大会・集会

No	開催時期	名 称	施 設
1	5月	第4回感染管理ネットワーク学術集会	全館
2	6月	才能教育研究集会指導者講習会	全館
3	8月	才能教育研究会夏季学校	小ホール
4	9月	日本青年会議所北陸信越地区長野ブロック協議会 第46回長野ブロック大会	主ホール・小ホール
5	10月	2015-2016国際ロータリー第2600地区会員大会	全館
6	11月	山岳フォーラム	主ホール・小ホール

4 協働推進事業

ホールボランティアを芸術館のパートナーと位置付け、来館者サービスの向上を図るため、職員とともに育成事業を実施します。

- (1) 接遇等各種研修の実施
- (2) 防災訓練等の共同実施

4 松本市波田文化センター

活 動 方 針

1 基本目標

- (1) 小ホールながら多目的な利用を図れる特徴を活かした幅広い利用を図ります。
- (2) 自主事業においては、西部地域の学校や団体との関わりを大切にし、鑑賞の場だけではなく、協働の場として一緒に事業を創っていくことに努めます。
- (3) 貸館にあたっては、地域に密着した施設として音楽愛好家団体等の活動の支援や、積極的な育成援助を行います。

2 平成27年度の重点的な取組み

- (1) 26年度に行った利用者アンケート調査の結果を踏まえて、より多くの市民の皆さんに気持ち良く利用・参加していただけるようサービスの向上に努めて参ります。
- (2) 波田少年少女合唱団と親交のあるMJCアンサンブルを迎えジョイントコンサートを行います。松本市が推進する、被災地からの留学に参加している子ども達との触れ合いなども交え、音楽を通して今一度震災復興を考え、支えていく機会にします。

3 利用促進対策

- (1) 自主事業、貸館事業ともにアンケート調査を行い、利用者のニーズに合った運営を心がけます。
- (2) 公演の広報は、従来の地元紙での告知に加え、26年度から始めたコミュニティーFM局での広報活動など可能なツールを開拓し、利用促進に努めます。

事業内容

1 自主事業

- (1) 自主事業については、アクトホール（定員：260人）で公演可能なプログラムを企画します。
- (2) 松本市の西部地域の拠点として、地域と密着した活動を実施します。
- (3) 地元の団体、保育園、学校等と連絡を密にする中で、鑑賞の場だけでなく、協働の場として一緒に事業を創っていきます。
- (4) 継続している事業についても、より参加しやすく楽しんでいただけるように工夫して実施します。

2 事業概要

区分 番号	事業名称等	開催 時期	支出 見込 (千円)	収入見込 (千円)	
	内容	参加 人員 (人)		事業 収入	市委 託料
(1) 鑑賞型事業		610	2,660	1,572	1,088
1	波田少年少女合唱団アンサンブルコンサート	6月6日（土）			
		210	200	104	96
2	MJCアンサンブル・波田少年少女合唱団 ジョイントコンサート	8月9日（日）予定			
		220	1,110	1,110	0
3	ハンド・シャドウズ・アニメーレ 手影絵によるパフォーマンス公演	11月1日（日）			
		180	1,350	358	992
(2) 市民参加型事業		390	1,710	778	932
1	第2回すいか寄席 立川談慶師匠による独演会と親子寄席	7月25日（土）26日（日）			
		340	1,430	710	720
2	第16回ピアノカーニバル ベーゼンドルファーの市民コンサート	9月12日（土）			
		30	270	60	210
3	第2回ピアノ開放デー ベーゼンドルファーの一般開放	2月 予定			
		20	10	8	2
(3) 事業共通			180	0	180
1	20周年パンフレット作成	通年			
合計	7事業	1,000	4,550	2,350	2,200

3 貸館事業

目標	利用料金収入	3,180千円
----	--------	---------

- (1) 利用者の立場に立って、充実した催事が行えるよう支援し、今後の継続した利用につなげていきます。
- (2) 利用者アンケートの結果を参考に、利用者の要望に柔軟に対応してまいります。